

令和5年度

第2回 自治会・町内会まるとミーティング報告書

日 時 令和5年11月26日（日）

午前10時から午前11時30分まで

会 場 守谷市役所 大会議室

第2回 自治会・町内会まるとミーティングでは、各区長様より事前に回答いただいたアンケートを集計し、結果の報告を行いました。また、アンケート内にて、特に課題意識の高かった、次の三つのテーマについて、AからGの7グループに分かれてミーティングを行いました。

- (1) 会長として参加する会議や仕事が多く、負担が大きい。
- (2) 高齢化等により役員のなり手がいない。
- (3) 自治会・町内会活動（イベント）の検討・実施。
会員が自治会・町内会活動に関心が薄い。



- (1) 会長として参加する会議や仕事が多く、負担が大きい

① 主な意見

- まちづくり協議会で決まった内容が、後になって連絡がくるなど、まちづくり協議会と自治会・町内会の連携がうまくいっていない。
- 行政が縦割りのため、それぞれから会議の出席要請があるのでまとめてほしい。
- 日曜日に仕事があるため、休みを取る必要がある。
- 役員会や班長会など会議が多く、曜日も土曜日に集中しているため負担に感じる。
- イベントの際は、2週間に1回の会議があり、負担に感じる。
- コロナが明けたため活動が多い。
- 市からの要請が多い。

② 改善策など

- 区長の業務年数を1年ではなく、複数年にする。
※取り組みたいことが1年ではできない。
- 自治会・町内会会員で協力しているので、負担は少ない。
- 近所同士でコミュニケーションを取っている。
- 自治会・町内会活動の企画について、役員が全員参加するようにする。
- 自治会・町内会の会議は全て区長が出席するのではなく、役員と分担している。



- LINE やホームページなどを活用して効率的に活動する。
- 会議の時間が長かったため、会議時間を明確に決め、速やかに終わるように改善した。

③ まとめ

区長業務の負担として、「自治会・町内会での会議が多い」や「市の要請（会議等）が多く、日程をまとめてほしい」、「コロナが明けたため活動が多い」といった意見が挙げられました。

それに対する改善点として、「会員で協力している」や「自治会・町内会の会議は区長が全て出席するのではなく、役員と分担している」、「会議時間が長かったため、会議時間を明確に決め、速やかに会議を終えるように改善した」という意見が挙げられました。

会議時間の短縮や役割分担をするなど、自治会・町内会運営の効率化によって負担を軽減するという方法を実施している自治会・町内会があり、運営を見直すことで、負担を軽減できる可能性があるのではないかと感じられました。

(2) 高齢化等により役員のなり手がいない

① 主な意見

- 会長になる時期が近づくと自治会・町内会を退会する人がいる。
 - 役員になる人がいない。
 - 役員をやりたくないという人はいないが、引継ぎに困っている。
 - 高齢化というより、若い人の力が出てこない。
 - 高齢世代と若い世代でギャップが大きい。
- ※意見や活動の相違がある。

② 改善策など

- 選挙制を取っている。
 - 高齢者で一人暮らしの人は役員を免除している。
 - 役員になる人には早めに声をかけてお願いをしている。
 - 75歳以上は役員を免除している。
 - 高齢となっても、OB（OG）として実質2年間に残ってもらっている。
 - 役員になりたくないという人も会員として残ってもらう。
- ※災害時には対応する必要があるため。
- 会員世帯数が少ないため、役員職をうまく持ち回りしている。
 - 仕事を退職した人がサポート隊として参加している。

- サポートメンバーとして期間や参加内容も任意で、好きな活動に参加してもらう。
- 自治会を退会してもごみ集積所を使用できるようにしている（広報紙は配布していない）。

※ごみ集積所の掃除はお願いしている

③ まとめ

高齢化等による役員のなり手不足について、「会長になる時期が近づくと自治会・町内会を退会する人がいる」や「高齢世代と若い世代でギャップが大きい」といった意見が挙げられました。

それに対する改善点として、「役員になる人には早めに声を掛けてお願いしている」や「サポートメンバーとして任意で好きな活動に参加してもらう」という意見が挙げられました。

自治会・町内会での役員について、事前に声掛けをすることで、人材を引き留めるだけではなく、引継ぎを効率的に行うこともできます。また、サポートメンバーという新たな位置付けをすることで、心的な障壁を軽減することができ、効果的だと考えられます。また、ごみ集積所の利用や管理、災害時の共助の面からも、高齢者に対しては役員を免除しているという自治会・町内会がありました。

（３）自治会・町内会活動（イベント）の検討・実施

会員が自治会・町内会活動に関心が薄い

① 主な意見

- 町内会館を所有していないため、民間の施設を借りるが、高額であるため、市からの助成金では足りない。一年に何万円補助すると決めて、その金額内であれば全額補助してほしい。
- コロナでイベントが中断となり、復活させたいが経験者がいないためイベントを実施できない。
- 自治会・町内会と比べて、子ども会の活動は活発である。
- 若い世代は忙しい。
- 何か新しいことをやりたいと思うが、意見が出ない。
- 神社の掃除を交流のきっかけにしたいが、なかなか参加してくれない。

② 改善策など

- 自治会・町内会活動の目的はコミュニケーションを取ることであるため、一人暮らしの人へ声掛けや公園での茶話会を開催する。
- 元々の住民が多い地域のため、関心が薄いことはない。

- ごみ集積所にイベント案内を表示している。
- イベントのスクラップ&ビルドが必要（同じイベントをするのではなく、新たにイベントを企画する）。
- 環境美化に不参加の場合は罰金を取る。
- イベントに参加しない会員にも粗品を贈呈することで、自治会・町内会の一員であることの意識を高める。
- 参加賞を付けることで参加率を高めている。
- 各班で懇親会を開き、要望などを集める。
- イベントはやりたい人が手を挙げてスタートする。
- 日程の調整を会長がして、イベントの実施内容の検討は班長達が決めるなど、役割を分けている。
- 自治会・町内会の原点はお寺や神社の祭りごとのため、象徴的なものがあると活動しやすい。
- 自治会・町内会に入るメリットを出す。
- 自治会・町内会の活動について、必要最低限とする。
- 子どもが参加すると、大人もイベントに参加する傾向がある。

③ まとめ

「自治会・町内会活動の検討・実施」「自治会・町内会活動に関心が薄い」について、「コロナでイベントが中断となり、復活させたいが経験者がいないためイベントを実施できない」や「若い世代は忙しい」といった意見が挙げられました。

それに対する改善点として、「日程の調整を会長がして、イベントの実施内容の検討は班長達が決める」や「子どもが参加するイベントにすると、大人も参加するようになる」という意見が挙げられました。

区長業務の改善にもありましたが、活動の検討や実施についても役員や会員へ作業を分担することで、個人への負担を軽減することができます。また、活動に参加していない会員に粗品を渡すことで、活動へ参加する意識をつけることができるのではないかとこの意見があり、改善に向けて様々な案が出てきました。

（４） 全体のまとめ

今回のミーティングを通して、各自治会・町内会が抱える課題を共有し、区長同士で理解や共感を深めることができたようです。また、他の自治会・町内会ではどのように運営をしているのかを知ることができたのではないかと思います。今後も区長同士がつながり、課題や活動、情報を共有して自治会・町内会活動を活発化させていただければと思います。